

UTokyo GSFS Sustainable Finance School

東京大学 大学院新領域創成科学研究科
サステイナブル・ファイナンス・スクール

2026年度 夏季・冬季コース

東京大学大学院新領域創成科学研究科

2026

夏・冬

ご挨拶

GREETING

地球規模の環境破壊や人権問題等、今日の国際社会が直面する課題は深刻化の一途を辿っています。このような国際問題は国の対応に一任されていましたが、解決のめどはついていません。そして、これらの問題は、企業の経済活動にまで影響を及ぼすようになりました。

企業自ら、国際的課題に自発的に取り組み、そして備えることが、究極的には企業活動の継続にとって必須条件となったのです。欧州から北米へ、そしてアジア諸国へと意識の共有は広まりました。今日では、企業の取り組みを示す情報開示、開示された情報を見て投資先を決定する投資家、商品を選ぶ消費者といった構造が当たり前になりつつあります。

日本でも世界の大きな潮流に追いつく動きが急速に進んでいますが、日本経済全体に浸透しているとは言い切れません。また、本来は、追いつくだけではなく、今後の国際的なルー

ル作りの場に参画し、地球と日本にとってベストな国際ルールを形成していく作業に貢献する人材を増やすことが理想です。

東京大学大学院新領域創成科学研究科は、上記の課題を大学として受け止め、日本経済全体をサステイナブルな社会へと先導しながら、新しいビジネスの開花につなげていくことができる人材の育成に貢献したいと考え、サステイナブル・ファイナンス・スクールを開設しています。受講者と大学が対話を深め、相互に学び合える場となれば本望です。

東京大学大学院新領域創成科学研究科 研究科長

伊藤 耕一

サステイナブル社会デザインセンター長&サステイナブル・ファイナンス・スクール長

亀山 康子

東京大学総長からのご挨拶

新型コロナウイルス感染症や気候変動など、私たち人類社会はいま地球規模の課題に直面しており、それに伴って世界各所で社会の分断や格差が露わになってきています。近年では、これらの社会課題が企業のリスクとしても認識され、そうしたリスクに対して十分に準備・配慮できているかという観点から企業が評価されるようになりつつあります。

このような社会変化に対応すべく、東京大学では、大学院新領域創成科学研究科による新しい社会人教育プログラム「サステイナブル・ファイナンス・スクール」を2023年度に立ち上げました。サステイナブル・ファイナンスの概念は、金融界に限らず全ての企業が事業活動を行う際に配慮すべき指針であり、それを担う人材の育成は急務です。

このスクールで学んだ社会人の皆様が、今後の日本経済を担う、地域再生に取り組む、ひいては国際社会をリードするなど、それぞれの立場で活躍していただくことを願っています。私た

ちもまた、このスクールを通じて受講生の皆様と社会課題を共有し、共にその解決に取り組んでいけるよう、双方向の対話が深まることを期待しています。



東京大学 総長

藤井 輝夫

スクールのねらいと特徴

ABOUT

目的／受講で得られる能力

本スクールは、人類社会のサステナビリティを確保するためのファイナンスのあり方、すなわち「サステナブル・ファイナンス」について、その背景と目的、理論的基礎、世界の潮流、実務知識等を広く学ぶとともに、そのあるべき将来に関して、参加者自らが問題意識をもって考察する機会を提供します。東京大学や国立環境研究所などアカデミアと実務界から、国内外のサステナビリティ分野の第一線で活躍する講師陣を招いて、講義を行い、参加者と議論を深めます。

金融界・産業界で実務経験のある中堅人材を主な対象に、自らの業務のみならず企業・金融機関や業界の進むべき方向を、サステナビリティの視点から見つめ直し高めるための主体的・総合的な「考える力」と「行動する力」を育成することを目標とします。また、本スクールでは、年度を越えて参加者や講師間のネットワークをサポートし、日本のサステナブル・ファイナンスをリードする人々が切磋し合い連携する機会を提供します。

なお、業務の一部は、東京大学エクステンション株式会社(東京大学100%出資会社)が担っています。

能力構築のための4ステップ

本スクールでは、サステナビリティを志向する世界の潮流の中でリーダーシップを発揮できる理論的基盤や主体的な考察力・情報収集能力を身に付けることを目指し、4段階での能力構築を実施します。

1. サステナビリティ問題の中核である地球環境の状況を科学的に把握する。それにより、世界的なサステナビリティの潮流の背景を正しく理解し、グローバルな視点で考えられるようになる。
2. サステナブル・ファイナンスに関連する理論的基礎を学ぶ。グローバル経済の負の外部性としての課題やその解消方法を理解し、経済・金融市場とサステナビリティの関係を考える上の基礎を身に付ける。
3. 様々な当事者による取り組みとその意義・実務動向の理解を深める。グリーン・ファイナンス、ESG投融資、企業情報開示等について、最新動向を知るとともに、そのメカニズムや効果について自らの考えを持てるようになる。
4. サステナビリティに関する政府や中央銀行の取り組みを学ぶ、各講義ではQ&Aと講師との議論を通じて理解をさらに深める。対面講義でグループワークを実施する。

【協力機関】

本スクールは、東京大学大学院新領域創成科学研究科が主催する他、国立研究開発法人国立環境研究所が協力機関となっています。

開講概要 | 2026年度 夏季・冬季コース

COURSE

開講期間

○夏季コース：2026年6月から2026年8月の期間 ○冬季コース：2026年11月から2027年1月の期間

実施日時と会場

・授業実施日：○ 平日(週ごとに曜日は異なる)：夕刻(90分2コマ)×8日 ○ 土曜：午後90分3コマ×2日
合計22コマ(1コマ=90分)

・会場：オンライン、ハイブリッド、対面(東京大学八重洲アカデミックコモンズ)の組み合わせ。

対面講義以外の日程は、オンラインおよびハイブリッド形式。ハイブリッド形式は講師および対面を希望する受講者が集います。

※授業実施日、講師、講義テーマの詳細については、変更があり得ます。本スクールのウェブサイトをご参照ください。

平日夜はオンライン講義を中心に据えることで、遠方にお住まいの方や、育児・介護等の時間が必要な方がワーク・ライフ・バランスを維持しやすいカリキュラムとなっています。詳しい日時は、ウェブサイトをご覧ください。


講師陣

東京大学、その他大学や国立研究開発法人、公的機関、民間企業から、トップクラスの講師陣を招聘します。

詳しい日時、具体的な講師リストはウェブサイト(裏表紙 右下のQRコードより)をご覧ください。

【受講申込手続きと費用】

- ・受講希望者の方は下記の要領でお申し込みください。申込書類による選考を行います。
- ・申込受付は東京大学エクステンション株式会社（東京大学100%出資会社）、選考については東京大学大学院新領域創成科学研究科が行います。
- ・書式は申込フォーム上または本スクールのウェブサイトよりダウンロードするか、連絡先Eメールアドレス宛にご請求ください。
- ・最新情報は本スクールのウェブサイトを参照ください。

募集期間	夏季コース 2026年3月中旬～4月上旬、冬季コース 2026年8月（予定）
定員	20名（最小開講人数8名）
受講料	60万円／人（消費税を含む）＊個人の資格で参加する申込者の一部を対象とした奨学金制度があります。
申込書類	◇企業等（国・地方自治体を含む）組織から派遣される受講申込者 申込書類：●志望動機説明書（PDFファイル）●推薦書（PDFファイル） 契約書類：●受講契約申込書（PDFファイル、原本＊郵送、電子押印不可） ＊東京大学と派遣組織との受講契約が必要です。派遣組織からの受講契約申込書提出・選考後の東京大学からの受諾書送付により、受講契約が成立することとなります。 ◇個人の資格で参加する受講申込者 申込書類：●志望動機説明書（PDFファイル）●奨学金適用申請書（希望者のみ、PDFファイル）
申込方法	募集期間内に申込フォームにて受講申込者情報をご入力の上、申込書類をPDFファイル形式でアップロードしてください。 申込フォーム、申込書類、契約書類、申込方法の詳細については、web サイトをご確認ください。 ＊各コースページは、募集開始日が近づき次第公開します。2026年度の募集状況についてはWeb サイト内「2026年度 夏季・冬季コースについて」にてご確認ください。（右記QRコード） <div></div>
特記事項	みなし輸出管理（経済産業省貿易管理部）の運用徹底から受講者について、以下の類型に該当する場合は、本学において事前に審査を行うことがあります。ご了承願います。 ①雇用契約等の契約に基づき、外国政府等・外国法人等の支配下にある者 ②経済的利益に基づき、外国政府等の実質的な支配下にある者 ③国内において外国政府等の指示の下で行動する者 このことから、これらに該当する場合はその旨特記事項に記載ください。
選考方法	プログラム運営委員会による書類選考
選考結果通知	夏季コース 2026年4月下旬、冬季コース 2026年9月（予定）

想定される受講生像

金融、その他業界の企業で、10年以上の実務経験を有し、サステナブル・ファイナンスを勉強したい方。また、同テーマで活躍する関係者との幅広い人脉構築の場を探している方。銀行、証券、機関投資家、その他一般企業の財務関係者を想定していますが、これに限定するものではありません。特に、ファイナンスをつうじて経済活動全体をサステナブルなものに変えていきたいという意欲をお持ちの方の受講を歓迎します。

参加の条件

大学学部卒業相当の学力を有することを条件とします。

修了証書

(1)10回コースのうち8回以上の講義への参加、(2)2回ある土曜対面講義のうち1回以上の参加、及び、(3)7回のオンライン講義後（欠席した回を除く）のレポート提出、が修了証書授与条件となります。この条件を満たしたコース修了者には修了証書を授与します（学位記ではありません）。

留意事項

- 1.本コースでは、受講者の方々は原則すべての回に出席することを前提とします。グループワークを含む土曜日の対面講義は、ハイブリッドとはしない予定です。
- 2.選考結果通知後は原則としてキャンセルを受け付けません。
- 3.主催者側の都合により、一部の開講日時、カリキュラムの内容、講義の内容等が変更になる可能性があります。
- 4.受講料は納付期限（選考結果と共に通知）までに納付頂くようお願いいたします。期限までに納付いただけない場合、受講できないことがあります。
- 5.受講者が最小開講人数に達しない場合は、原則として開講中止となります。

連絡先

東京大学大学院新領域創成科学研究科 サステナブル・ファイナンス・スクール事務局
〒277-8563 千葉県柏市柏の葉 5-1-5 Email：susfinance@edu.k.u-tokyo.ac.jp
サステナブル・ファイナンス・スクール Web サイト URL：https://susfinance-school.k.u-tokyo.ac.jp/（右記QRコード）

